

社会福祉法人 ともいき会

# はらあ

身体障害者相談支援  
デイサービスセンター  
コミュニティセンター  
身体障害者相談支援事業

26号  
2006

川越身体障害者センター



社会福祉法人 ともいき会

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡 1646-17

TEL 049(231)1422 FAX 049(234)7288

E-mail kawagoe@tomoiki.com

URL <http://www.tomoiki.com>

## 特集「ともいき10周年記念行事」

利用者の窓 ユーザーズウィンドウ

「『組み紐』を日常生活に活かせるようにアレンジ!」

ともにイキイキ アルバム

家族会通信

カモンデイサービス

障害者生活支援センター ともいき  
ほっとホットニュース

ともいき会からのお知らせ

# ともいき10周年記念行事

社会福祉法人ともいき会、川越身体障害者センターは、今年度、開所10周年を迎えます。今年度はさまざまな10周年記念行事を行っていきたいと思います。ただ今計画中の記念行事をご紹介します。

## 記念式典&食事会

7月23日(日)、川越プリンスホテルを会場にして記念式典・食事会を行います。法人役員・療護施設利用者・家族・スタッフ等と、ご来賓をお招きして皆さんで楽しみたいと思います。ともいき10年の歩みを懐かしい写真を見ながら豪華コース料理と共に皆さんで振り返りましょう。



## 10周年記念誌

毎年お配りしているイヤープック。例年は事業実績や事業計画が記載されています。来年度お配りするイヤープックには、それらに加え、10周年記念誌的要素を盛り込んだ内容にしたいと思っています。さあ、どんな記念誌になるでしょうか。



## 秋祭り(仮称)

毎年8月に納涼会が行われていました。今年度からは時期を9月にずらして「秋祭り」という形で行います。デイサービス利用者・家族・地域の方にもご参加いただき、秋にふさわしい内容にしたいと思っています。詳しい内容はただ今検討中です。

Tomoiiki  
10th Anniversary



## 開設10周年を迎えて「ともに生きる心」

平成9年4月1日に川越身体障害者センターが県下で12番目の身体障害者療護施設として開設されてから、はや10年の節目を迎えることが出来ました。これも偏に、埼玉県をはじめ関係機関のご指導と、地元川越市及び地域の皆様の暖かいご理解とご支援によるものと、深く感謝と敬意を申し上げます。

そして、開設以来施設の運営にご尽力を頂いてきました、法人の役員様及び職員の皆様、また障害を乗り越え、共に施設での生活に日々努力されてこられた利用者の皆様と、そのご家族の皆様に深く感謝を申し上げます。

少子、高齢化の時代を迎えて、我が国の社会保障制度の3本柱である「年金・医療・福祉」は、抜本的な制度の見直しを迫られているところであり、社会の変化に対応した長期的かつ安定的な福祉制度の確立が求められているところでもあります。

ともいき会の開設時は、措置制度で施設運営を行い、その後利用者が施設サービスを選択する支援費制度に変わり、そして今年度より身体・知的・精神の3障害を一元化する障害者自立支援法が施行されました。このように変化する福祉の制度の中で、法人理念である「ともに生きる」という考え方は、変わることはありません。

施設利用者の皆様へ良質で高度な福祉サービスの提供と快適な生活環境の整備に意を配し、利用者のニーズに応えられる施設運営を図ることはもとより、職員が施設で培った福祉の知識や技術等のノウハウを地域に提供し、地域福祉支援の拠点としての役割を果たしていくことが当施設の重要な使命と認識しているところであります。

10周年を迎えるにあたり、利用者のニーズに応えられる施設、また、地域から期待される施設をめざして役職員一同決意を新たにすところ です。今後も、皆様方の変わらぬご指導とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

社会福祉法人ともいき会

理事長 大野達郎

Anniversary



利用者の窓

## ユーザーズウィンドウ user's window

「組み紐」を日常生活に  
活かせるようにアレンジ!

今回のユーザーズウィンドウは、組み紐(くみひも)作りに励んでいらっしゃる入居者の山本宏美さんにお話を伺いました。

組み紐とは着物を着る時に帯(おび)の上に締める「帯締(おびじめ)」です。母が日本舞踊をしていたので知っていました。自分が作るようになったのは、理学療法士の川崎さんに組み紐を紹介されたのがきっかけで、デイサービスやショートステイ利用者の3人で楽しく製作しています。私の場合一つの作品が出来上がるのに1ヶ月位かかります。

結構、肩がこり疲れるので休みながら作業をしています。手の力が弱いので、まだしっかりと作れません。本来、材料費は絹糸なので高価なのですが、施設に長期間置いてあった道具と材料をスタッフが綺麗にしてくれ、現在はそれを使っています。

作品作りはアレンジ次第でネックレスやブローチにもなるので実際に身に付けて楽しんでいきます。障害者の作品展への出品や、身近な人にプレゼントするのも楽しいです。

今後は組み紐に詳しい方を探し、いろいろな組み方を教えていただきたいと思っています。組み方に詳しい方や作業療法士の方、ご連絡お待ちしております。

5月14日に行われた「川越市ふれあい福祉まつり」で初めて作品の販売をし、完売となりました。ご協力頂いた方々と購入して頂いた方々にこの場を借りてお礼を申し上げます。

山本さんありがとうございました。これからも豊富なアイデアを織り込んだ作品作りに期待する編集者Kでした。

